

平成29年度武道授業指導者講習会

平成24年度から中学校保健体育科において武道が必修化されたことに伴い、岡山県教育委員会では、安全で充実した武道授業が行われるよう、平成24年度から平成26年度まで「中学校武道安全管理講習会」を行ってきた。教員の安全に対する意識の向上や講習会の実施等もあり、県内において武道授業における事故は減少してきている。そこで、平成27年度からは、安全面に加えて、より楽しく充実した授業を目指して、模擬授業等も加えた「中学校武道授業指導者講習会」に名称を変更して行っている。

- 1 期 日 平成29年8月25日（金）
- 2 会 場 倉敷市玉島市民交流センター 武道館
- 3 講 師
剣道 土井 亮輔 教諭（剣道 五段 総社市立総社東中学校）
加藤 章 講師（剣道 教士八段 岡山県剣道連盟）
柔道 松本 隼 教諭（柔道 三段 倉敷市立新田中学校）
川端 美穂 教諭（柔道 三段 岡山市立桑田中学校）

4 講習会の様子

○剣道



竹刀を持たない素振り（エア竹刀）



刃筋を正しくする練習（新聞紙切り）



正しい防具のつかけ



審判法（気・剣・体の分担）

○柔道



5 受講者の感想

○剣道

- ・実際の授業でそのまま使える礼法から基本の打ち方、返し技まで大変ためになるものでした。音楽をかけてのリズム面打ちは是非やってみたいと思います。
- ・きちんとした説明を土井先生、加藤先生から聞けて、根拠のもとに指導ができる引き出しが増え、大変参考になりました。
- ・剣道の歴史や相手を思いやる心も学べて、今日の体験を生徒にしっかりと伝えていきたいと思いました。私自身とても楽しく学ぶことができ、剣道の楽しさを実感することができたので、楽しさも生徒にしっかりと伝えたいです。

○柔道

- ・武道への苦手意識から不安な気持ちで臨んだのですが、基本から丁寧に楽しく教えて頂き大変参考になり、有意義な時間となりました。
- ・生徒に指導する際難しさを感じているものが、自ら体験することで、体の使い方や言葉でのポイントや注意点を理解できました。
- ・実技書にないような指導の工夫や安全面への配慮などを知ることができました。また、事故の防止について再度考え直す良い機会になりました。
- ・塩ビパイプを使ったことで、「くずし」がよくわかり、投げ技において「くずし」の大切さを再認識できました。